

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



県北地方では、初夏の果物さくらんぼの収穫時期になりました。観光果樹園では摘み取り体験できる場所もあります！



福島市内の果樹園のさくらんぼ。赤く色づくとき食べ頃に。口いっぱい初夏の甘さが広がります。

「全国植樹祭大会1年前イベント」を開催！

平成29年6月11日（日）、伊達市「霊山こどもの村」において、「第69回全国植樹祭ふくしま2018大会1年前イベント」が、全国植樹祭福島県実行委員会等の主催により開催されました。

「植樹祭オリジナルキビタン」のお披露目や緑の少年団表彰式などの式典の後、林道大霊山線沿いに設けられた約1haの会場で記念植樹が行われたほか、木工工作などができる体験コーナーや飲食コーナーが設けられ、お笑いライブステージが開催されるなど子供から大人まで楽しめるイベントとなりました。

また、県北地区のブースでは、イノシシの革製品（伊達市）、川俣シャモ（川俣町）、献上桃のソルベ（桑折町）の販売や、パネル展示・各市町村PRパンフレットによる情報発信を行い、積極的に地域の魅力をアピールしました。

最後に全国植樹祭PRイベントのひとつ「木製地球儀の県内巡回」が始まりましたので、御紹介します。
(森林林業部)

○木製地球儀とは？

全国植樹祭のシンボルとして開催県に代々引き継がれているもので、本年5月28日の富山県大会の際に本県へと引き継がれました。

県では大会開催の気運を醸成するため、この木製地球儀を約1年かけて県内の全市町村で巡回展示します。是非この機会にご覧になってください。

○県北管内の巡回展示計画

- | | | | |
|----------------|-----------|-------------|-----------|
| ・福島市（市役所） | 6/16～6/26 | ・桑折町（イコーゼ！） | 6/26～6/29 |
| ・国見町（役場） | 6/29～7/4 | ・伊達市（梁川分庁舎） | 7/4～7/12 |
| ・二本松市（市役所） | 7/12～7/18 | ・川俣町（役場） | 7/18～7/21 |
| ・大玉村（フォレストパーク） | 7/21～7/31 | ・本宮市（えぽか） | 7/31～8/3 |



全国植樹祭大会1年前イベントでの知事挨拶



全国植樹祭オリジナルキビタンと木製地球儀

県北・相馬地方 GAP 研修会を開催！

平成 29 年 6 月 1 日（木）、JA 福島ビル 1001 会議室において、当事務所主催、ふくしま未来農業協同組合共催により「県北・相馬地方 G A P 研修会」を開催し、農業者や関係機関等をあわせ 200 名を超える参加がありました。

G A P（ギャップ）とは、「Good（良い） Agricultural（農業） Practice（実践）」の頭文字からとったもので、食品安全・環境保全・労働安全などの観点から、安全に農業生産に取り組むための管理項目を整理し、農業生産上のリスクを把握して改善を図っていく取組です。研修会では、「G A P の役割と第三者認証の取得について」と題し、株式会社北海道有機認証センター・北海道 G A P 認証センターの澤井潤子氏より講演がありました。参加者からは「G A P の第三者認証取得に関心が高まり、大変勉強になった」と好評でした。

当事務所では、G A P の取組が増えるよう引き続き支援を行ってまいります。

（農業振興普及部）



須田当事務所長の主催者代表挨拶



講演に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

新たな選果システムの完成披露式が執り行われました！

平成29年6月7日（水）、伊達郡桑折町の伊達果実農業協同組合共同選果場において、新たに導入された光センサー選果システムの完成披露式が執り行われました。

完成披露式では、安全祈願のための神事に続き、伊達果実農業協同組合の佐藤邦雄代表理事組合長の「新たな選果システムを活用し、くだもの専門農協としてブランド力を高めていきたい。」との力強いあいさつの後、関係者によるシステム起動式が行われました。

今回、披露された選果システムは、平成28年度産地パワーアップ事業（生産支援事業）を活用して導入されたもので、最新式の非破壊透過光型光センサーにより、糖度などの果実内部の情報をより多く解析できるシステムとなっています。また、果実の転がりをなくして選果時の傷みを防ぐことのできるフリートレー方式を採用しています。

伊達果実農業協同組合共同選果場では、7月始めのももの早生品種「はつひめ」を皮切りに新たな選果システムを利用した果実の出荷が始まります。ぜひ、おいしい果実を御賞味ください。（伊達農業普及所）



安全祈願のための神事



システム起動式



刷新された選果ライン



フリートレー方式の選果システム

県北地方農薬適正使用推進会議を開催

平成29年6月9日（金）、ふくしま未来農業協同組合福島南支店において、当事務所主催により「平成29年度県北地方農薬適正使用推進会議」を開催し、市町村や農協関係者などの構成員36名が出席しました。

福島県では、農薬の安全かつ適正な使用及び保管管理の徹底等を推進するため、毎年6月10日から9月10日まで農薬危害防止運動を実施しており、これに先立ち本会議を開催しました。

会議では、農薬使用基準の遵守や、周辺環境への配慮等について意識の統一を図るとともに、無人航空機の空中散布等実施計画書の提出や蜜蜂被害軽減対策に係る連絡体制について再確認しました。

これからは、最も農薬の使用頻度が多い時期を迎えるので、農薬を使用する際にはラベルをよく読み、登録内容を確認の上、最終有効年月（期限）内に使用するようにしてください。また、使用予定場所の近隣の住民や施設、養蜂業者等に事前に散布等計画をお知らせし、農薬による危害防止に努めましょう。（農業振興普及部）



会議の様子



平成29年度農薬危害防止運動ポスター

「飯坂温泉くだもの木オーナー制度感謝祭」が開催されました！

平成29年6月18日（日）、福島市飯坂町の安齋忠作さんのサクランボ畑において、「飯坂温泉くだもの木オーナー制度感謝祭」が飯坂温泉観光協会の主催により開催されました。

「飯坂温泉くだもの木オーナー制度」とは、1本の木を年間でオーナーになっていたただき、花見や摘果、収穫はもちろん、「いで湯とくだもの里」飯坂温泉の魅力を十分に満喫していただくものです。

感謝祭では、サクランボ狩りの後、その木の下で飯坂温泉の名物料理（手打ちそば、鮎塩焼き、ラヂウム玉子、餃子、いか人参、地酒など）が振る舞われました。さらに、ミュージシャンなどの演奏などが行われ、楽しさ満載のイベントとなりました。

飯坂の美味しいくだものと温泉を楽しみたい方は、ぜひ「飯坂温泉くだものの木オーナー」になってみてはいかがでしょうか。

※「飯坂温泉くだものの木オーナー」問い合わせ先：

飯坂温泉観光協会 024-542-4241 (企画部)



安齋忠作さん(サクランボ園主)による挨拶



飯坂温泉の名物料理を参加者で堪能

法人化研修会を開催！

平成29年6月20日(火)、二本松合同庁舎会議室において、当事務所主催による「法人化研修会」を開催し、安達管内の農業者や関係機関担当者など39名が出席しました。

「企業的経営を実践するための経営ノウハウの紹介～マネジメント力の向上を目指して～」と題し、菅野覚中小企業診断士事務所(エル・アール・エー)代表の菅野覚氏(普及指導協力委員)に講演いただきました。菅野氏からは法人化のメリットや人材・利益等についてのマネジメント(経営管理)の方法、経営の状態を把握・分析する管理会計の重要性、計画策定の前段で環境分析や戦略策定が必要であるなどの説明がありました。参加者からは法人の運営に関する質問があり、菅野氏より「まずは課題を整理し、目標達成と課題解決に向けて構成員等で話し合っていくことが重要。情報入手はインターネットなども活用できる。」とのアドバイスがありました。

当事務所では、引き続き経営発展や法人化に向けた支援を行っていきます。

(安達農業普及所)



挨拶する阿部安達農業普及所長



菅野氏の講演

「伊達な畑カフェ～いちご狩り～」が開催されました！

平成29年6月11日（日）、DATEC会員の谷津佑一氏のハウス（伊達市梁川町）において、伊達地方の青年農業者クラブ「DATEC（ダテック）」主催による消費者交流イベント「伊達な畑カフェ～いちご狩り～」が開催されました。

DATECは伊達地方の20～40代の若い農業者を中心に構成され、次世代を担う農業者としての資質向上及び消費者等との交流を目的に、平成8年から活動している組織です。

「伊達な畑カフェ」は、消費者に農業体験や農家の一服を通して農家生活を身近に感じてもらい、農業者と消費者との交流を深めることを目的に、毎年会員のほ場持ち回りで開催しています。今回が4回目となり、参加人数は過去最多の82名でした。

開会式では、集合写真を撮り、いちごの栽培の流れを子どもにも楽しんでもらえるように寸劇で発表しました。その後、参加者は11棟のハウスに分散し、いちご狩りを行いました。参加者は取れたてのいちごに「甘くておいしい」と感動した様子で、持ち帰りのいちごも満足いくまで収穫していました。また、農家の一服として、果物のシロップのかき氷や飲み物を提供しながら、参加者との交流を図りました。

DATEC会員からは「参加者に満足してもらえて良かった」「80名を超えるイベントをやり遂げ、これからの自信につながった」などの意見が聞かれ、有意義な1日となった様子でした。

（伊達農業普及所）



参加者とDATECの集合写真



イチゴを収穫する参加者



参加者との交流の輪投げを楽しむ子供たち



DATECのスタッフメンバー

ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部で農業塾が開講！

平成29年5月29日（月）、ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部が主催する農業塾の開講式及び第1回目の講義が行われました。

農業塾は、当地域の基幹品目である「モモ」と「キュウリ」の2コースを設けて、経験年数の少ない農業者に基本的な栽培知識と技能を習得してもらうことを目的に平成19年度から開講されており、今年度で11年目を迎えます。

受講生は若手就農者、定年帰農者、女性農業者などが対象です。今年度は、「モモ」コース11名、「キュウリ」コース5名の合計16名が受講しており、各コースとも年度内6回にわたって、栽培技術の講義や現地実習及び農業税務に関する研修等を行う予定です。

開講式では、萩原嘉昭同組合伊達地区担当常務理事及び吉田清当事務所伊達農業普及所長が激励のあいさつを行った後、参加者はそれぞれのコースに分かれ、伊達農業普及所職員などによる品目の特性や栽培管理の基礎についての講義を聴講しました。

質疑応答では、キュウリの栽培管理やモモの樹体の生理・生態についてなど数多くの質問が出され、受講生たちの熱心さが伺える有意義な時間となりました。

（伊達農業普及所）



開講式の様子



「キュウリ」コースの第1回目講義の様子

「献上桃」決定通知交付式を執り行いました

平成29年6月8日（木）、桑折町役場にて、「献上桃」決定通知交付式を執り行いました。

これは、本県特産の桃を県が皇室や宮家に献上するに当たり、その産出地の指定を伝達するもので、桑折町 高橋町長の立ち会いのもと、当事務所 須田所長からJAふくしま未来 佐藤廣武理事に決定通知が手交されました。

24年連続となる産出地の決定について、佐



「献上桃」決定通知を交付（右から高橋桑折町長、佐藤 JA 理事、須田当事務所長、）

藤理事からは「産地としてこの上ない喜びであり、献上桃の名に恥じぬ高品質でおいしい桃づくりに励む。」との決意表明があり、高橋町長からも「桑折町の誇りであり、農業所得向上や若手農業者の確保など農業振興に活かしていく。」との発言がありました。

現在のももの生育は順調で、7月末から8月初旬に「献上桃」の選果式が行われる予定です。
(農業振興普及部)

第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン開催予告！

第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを今年も開催いたします！今年もふくしま未来農業協同組合主催の「みらいフェスタ」との同時開催になります。

当日は、おいしい地元産のももや夏野菜の試食、素敵なプレゼントを用意して、皆様のお越しをお待ちしております！

ぜひ御家族揃っておいてください！

■日時

平成29年7月15日（土）
午前9時～午後3時

■場所

ふくしま未来農業協同組合 ファーマーズマーケットみらい百彩館「んめ〜べ」
(住所：伊達市雪車町19)

■お問い合わせ先

県北農林事務所企画部
(電話：024-521-2596)

(企画部)

■昨年の開催の様子



ミスピーチによるももの試食提供



アンケート回答者にプレゼント

けんぼくの6次化の取組の紹介 奥の松酒造株式会社

「酒処 ふくしまのお酒で福島を元気に！」



奥の松酒造株式会社では、福島県の農産物を使った酒類の製造と販売活動に取り組んでおります。会津に自生する「栃の木」の花の蜂蜜を使った『Honneur-ハニール』は、はちみつ本来の自然な甘みと香りを最大限に生かすためにアルコール度数も5%に設定しており、お酒が苦手な方にも楽しんで頂ける仕様となっております。

その他、福島県産の原料を使った日本酒やリキュールなども取り揃えております。

●6次化商品の紹介



◆ 内容量: 500ml

◆ アルコール度数: 5%

◆ 会津地方に自生する「栃の木」の花の蜂蜜と、安達太良山の伏流水から生まれたはちみつ酒です。

人類最古のお酒とも言われるはちみつ酒には、ビタミン・ミネラルなどの豊富な栄養素が含まれ、美容・健康に良いと言われております。

自然の恵みを生かしたはちみつ酒は甘い香りとなめらかな味わいです。

●その他（商品のPRなど）



- なつはぜふるーてい
- 内容量: 500ml
- アルコール度数: 6%
- 会津産の「なつはぜ」果汁に自社の特別純米酒をブレンドし、造り上げたリキュールです。



- 夢の香 純米吟醸
- 内容量: 720ml
- アルコール度数: 15度
- 福島県が十年の歳月を投じて開発した酒造好適米『夢の香』を100%使用しています。

●取り扱いWEB販売

奥の松酒造株式会社 <http://www.okunomatsu.co.jp>

●事業者データ

奥の松酒造株式会社

〒964-0866 福島県二本松市長命 69 番地

☎ 0243-22-2153 📠 0243-22-2011 HP <http://www.okunomatsu.co.jp>



酒蔵ギャラリー店内



奥の松酒造社屋

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp